



みんな大好き！ 学校大好き！ ふるさと大好き！

# 「大好き！」 第14号



令和5年3月24日（金）発行 （本校ホームページQRコードです。子供たちの学校生活の様子などをご覧ください。）

## ご卒業おめでとうございます！

### 令和4年度第19回卒業証書授与式 学校長式辞

春爛漫の今日の良き日、ここに卒業証書授与式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

十名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今、みなさん一人一人に卒業証書を授与しましたが、確かな成長を感じています。

さて、みなさんは、「ビルドバックベター」という言葉を知っていますか。これは、平成28年に発生した熊本地震から復旧復興をめざす際に、樺島郁夫熊本県知事が大切にされたキーワードです。「ビルドバックベター」、日本語で分かりやすく言うと「もとよりいい形に戻すこと」です。

みなさんが3年生の終わり頃から続いているコロナ禍にあって、多くの行事が中止や規模縮小になったりして寂しい日々が続きました。

しかし、コロナ禍が与えたのは、感染予防対策や行事等の自粛、いわゆるマイナス面ばかりではありませんでした。これが、「ビルドバックベター」です。みなさんは、コロナ禍の新しい生活様式で過ごしてきたことにより、今までの日常が「当たり前」ではないことを知り、大切なたくさんのお話を学ぶことができました。

廊下ですれ違うときの「おはようございます」「こんにちは」のあいさつが、とても明るく、さわやかになりました。

自分たちの手でより良い学校を創っていこうと5つに分かれて取り組んだ委員会活動では、児童集会や校内放送を活用し全校に呼びかけ、目標達成のための地道な努力を積み重ねてきました。

三年連続で午前中の開催となった運動会では、力強い応援合戦をはじめ、それぞれの競技に全力を出し切ってがんばるときの心地よさを知りました。また、下級生に対しても、きびきびと動くことの大切さを態度で示すことができました。

複式学級における授業では、少人数学習のメリットを最大限に生かし、一人一人が「学びの主体」となり、学び合う姿と「みんなで伸びよう」と努力するその心の成長ぶりに感動を覚えました。

そして、りん小ならではの感動をしたのが「りんどう太鼓」です。みんなの心を一つにして一糸乱れぬパチさばきは見事なものでした。阿蘇郡市の研究発表会のアトラクションで演じた時も、観客の皆様からの感動の嵐に包まれました。

このように、みなさんは、学校を「夢」と「自信」で、いっぱいにしてくれた牽引者です。

これは、「当たり前」の日常が「当たり前」ではなくなったという、コロナ禍が気づかせてくれた、いわゆる「ビルドバックベター」の一つだと思っています。「当たり前」の反対語は「ありがとう」です。日常生活における数々の現実を「当たり前」と思ったらそこまです。みなさんは、逆に「ありがとう」という感謝の気持ちを持つことができたからこそその心の成長だと

思います。

このように、6年生が残してくれた「ビルドバックベター」としての活躍の数々は、どれも素晴らしいものばかりです。今後はきっと、在校生が引き継いでくれるものと確信しています。

みなさんには、小学校6年間で学んだことを自分のものにし、これから先、夢の実現へ向けて努力を積み重ねていってほしいと願っています。

人と比べる必要はありません。昨日の自分より今日の自分が、今日の自分より明日の自分が、一歩でも半歩でも前進できるよう、三歩進んで二歩下がりがりながらでもいいので、やるべきことをこつこつと積み重ねていってほしいと思います。

時にはくじけそうになったり、逃げ出したくなったりすることもあるでしょう。そんな時こそ、「ビルドバックベター」を思い出してください。「プラス思考」という言葉に置き換えてもいいかもしれません。何事も前向きに捉えることが大事です。「ピンチはチャンス」という言葉もあります。どんな状況下にあっても、「当たり前」ではなく「ありがとう」という考えを持つことにより、プラスにとらえることができ、チャンスが出てきます。そうすれば、きっと、もとよりいい姿に変えていくことができると信じています。それが、「ビルドバックベター」です。

そして、「みんな大好き！」「学校大好き！」「ふるさと大好き！」という学校教育スローガンのもと、りんどうヶ丘小学校で学んだ多くのことを次のステージへつないでいってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。誕生から今日を迎えるまでのさまざまな出来事が思い起こされ、感慨もひとしおのことと存じます。

今日は、是非、子供さんに「卒業おめでとう」のあとに、「よくがんばったね」という言葉をかけてやってください。「がんばれ」でなく「がんばったね」がモチベーションを上げることに繋がると思っています。

皆様には、この6年間、本校の教育に温かいご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。今後とも、りんどうヶ丘小学校の発展のために、お力添えをいただければ幸いです。

最後に、卒業生十名、一人一人の前途が幸多きものであることをお祈り致しまして式辞と致します。

令和5年3月23日

南小国町立りんどうヶ丘小学校

校長 栃原 憲聖



### <めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！



みんな大好き！ 学校大好き！ ふるさと大好き！

# 「大好き！」 第15号



令和5年3月24日(金)発行 (本校ホームページQRコードです。子供たちの学校生活の様子などをご覧ください。)

## ご進級おめでとうございます！

- き **きつくても、全力を出し切った**  
**縄跳び大会やクロスカントリー大会！** 体
- よ **よく考え、おぼろしく、**  
**取り組んだ学習の総まとめ！** 知
- ら **ランドセルに図書室の本をつめ、**  
**家読で心の栄養を満タンにしました！** 知
- れ **冷たい水でどうきんを洗い、**  
**教室やろうかを磨く姿はすばらしい！** 徳
- こ **この日はゴールではなく、スタート！**  
**切り替えて新学期を迎えよう！** 知徳体

これは、修了式で、子供達に話した、第4ステージの学校生活を振り返った「あいうえお作文」です。「きよらっこ」でまとめさせていただきました。劇的な日本の優勝で幕を閉じたWBCワールドベースボールクラシックに世界中が感動しました。子供たちみんなと、ヌートバー選手の「ペッパーミル」をやってフィーバーしたい気分です。侍ジャパンに負けないくらい子供たちは持っている力をしっかり発揮してくれた一年間となりました。「夢」いっぱい「自信」いっぱいという学校教育目標のとおり、一人一人が自分のよさを発見し、夢を抱き自信を身に付けてくれたことと思います。4月からは、一歩先のステージでさらなる活躍を期待しています。いよいよ、4月は創立20周年の節目の年の幕開けです。一歩前進した気持ちで新学期を迎えましょう。



クロスカントリー大会で力走するりん小っ子

## 全力を尽くしたなわとび大会 & クロスカントリー大会

**なわとび大会** 各学年の男女別1位を紹介します。

### <1分間で前とびが何回できたかを競う部門>

1年	男子	1位	木村	とうり	152回
	女子	1位	青木	あんじゅ	134回
2年	男子	1位	高村	りゅうしょう	125回
	女子	1位	蔡	かち	115回
3年	男子	1位	山内	たかひと	149回
	女子	1位	佐藤	りお	146回
4年	男子	1位	伊東	ゆずる	169回
	女子	1位	権藤	びあん	185回
5年	男子	1位	権藤	じょうい	192回
	女子	1位	佐藤	ゆづき	184回
6年	男子	1位	杉安	とうや	231回
	女子	1位	穴井	うみ	202回

### <1分間×学年の時間を連続してとび持久跳び部門>

1回も引っかけからずに <b>1分間</b> とべた1年生	1年	木村	とうり	樋口	ひなめ
1回も引っかけからずに <b>2分間</b> とべた2年生	2年	該当なし			
1回も引っかけからずに <b>3分間</b> とべた3年生	3年	穴井	ひかり	佐藤	しづき
1回も引っかけからずに <b>4分間</b> とべた4年生	4年	井	せいたろう	北里	はな
1回も引っかけからずに <b>5分間</b> とべた5年生	5年	権藤	じょうい	佐藤	ゆづき
1回も引っかけからずに <b>6分間</b> とべた6年生	6年	泉	はると	杉安	とうや
		本田	あいり		

## クロスカントリー大会

各学年の男女別1位を紹介します。

<b>1・2年生の部 1150m</b>					
1年	男子	1位	佐藤	しんや	6分17秒
	女子	1位	青木	あんじゅ	6分25秒
2年	男子	1位	高村	りゅうしょう	5分47秒
	女子	1位	蔡	かち	6分45秒
<b>3・4年生の部 1900m</b>					
3年	男子	1位	横山	ふうや	9分35秒
	女子	1位	佐藤	しづき	9分47秒
4年	男子	1位	松丸	てんせい	9分32秒
	女子	1位	権藤	びあん	8分46秒
<b>5・6年生の部 2400m</b>					
5年	男子	1位	権藤	じょうい	10分59秒
	女子	1位	林	まい	14分28秒
6年	男子	1位	泉	はると	10分29秒
	女子	1位	ウッド	めい	14分15秒

## <めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！